

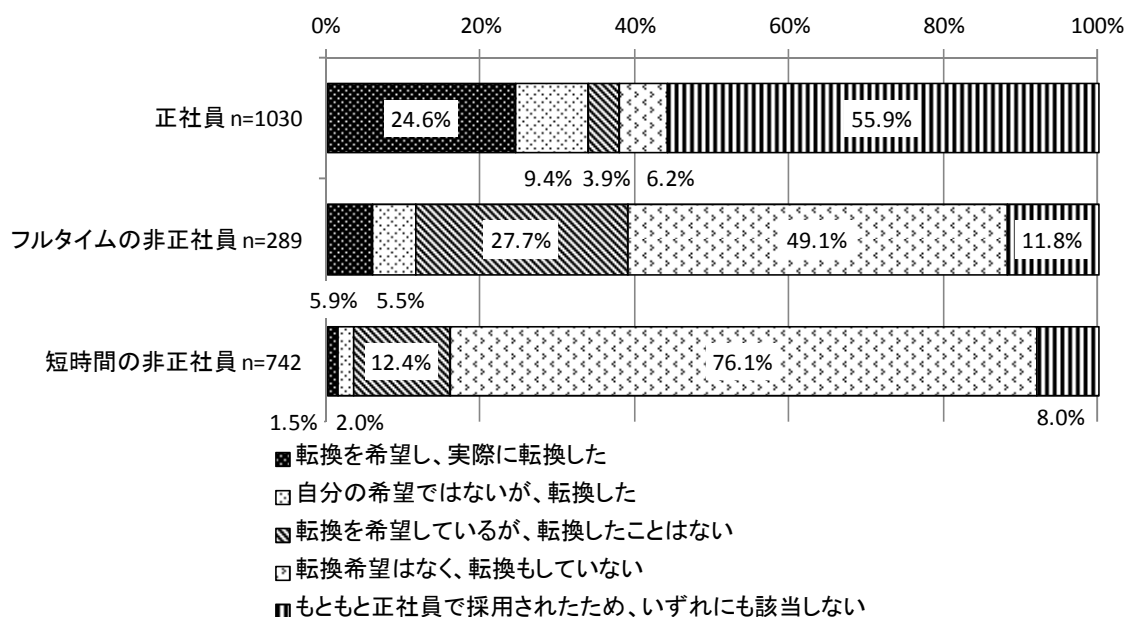
#### 4. 再就職後の働き方

- 雇用形態の変更（非正社員から正社員などへの転換）については、正社員は「転換を希望し、実際に転換した」が24.6%、フルタイムの非正社員は「転換希望はなく、転換もしていない」が49.1%、「転換を希望しているが、転換したことはない」が27.7%、短時間の非正社員は「転換希望はなく、転換もしていない」が76.1%を占めている。
- 再就職先での支援は、「職務内容に関する研修」が2割前後あげられている。
- 利用経験のある両立支援制度、もしくは利用を希望する両立支援制度は、「短時間勤務制度」「子の看護休暇制度」「半日単位、時間単位等の休暇制度」などが多い。また、正社員は、非正社員に比べて、利用経験、利用ニーズとも高くなっている。
- 再就職先の職場について、②所定時間内で仕事を終えることを奨励している、⑤上司が仕事と育児の両立に理解がある、⑥同僚が仕事と育児の両立に理解があるについては、『あてはまる』（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）割合が6～8割と比較的高いが、⑦男性で、育児や介護をしている人がいる、⑨ロールモデルがいるに『あてはまる』（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）割合は、1～2割前後にとどまっている。
- 現在の仕事に満足している割合（「満足している」及び「まあ満足している」）は、フルタイムの非正社員が65.4%、正社員が72.6%、短時間の非正社員が79.1%である。
- 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて、4分の1前後は後悔している（「とても後悔している」及び「やや後悔している」）。後悔している理由は、「経済的に厳しくなった」のが6割弱で最も割合が高く、次いで、「再就職したが希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなったたりした」「今後再就職しようとしても良い就職先がない」などが続いている。
- 現在のキャリア意識は、「仕事以外の生活を充実させたい」が35%程度、「やりがいのある仕事をしたい」が4分の1前後を占めている。最初の子を持つ前と比べて、前者は大きく増加し、後者は特に短時間の非正社員において大きく減少している。
- 子どもが小さいうちは、正社員は「フルタイムだが残業のない仕事」、フルタイムの非正社員は「短時間勤務・短日勤務制度」を希望する割合が高いが、実際の働き方は、正社員、フルタイムの非正社員とも希望に比べて「残業もあるフルタイムの仕事」の割合が高くなっている。短時間の非正社員は、「家でできる仕事」を希望する割合が高いが、実際の働き方は、希望に比べて「短時間勤務・短日勤務制度」の割合が高くなっている。

### (1) 雇用形態変更への希望・経験

非正社員から正社員への変更など雇用形態変更の希望・経験をみると、現在正社員である者は、他と比較して「転換を希望し、実際に転換した」(24.6%)の割合が高く、約4分の1を占めている。フルタイムの非正社員は、「転換希望はなく、転換もしていない」(49.1%)が約半数を占めている一方、「転換を希望しているが、転換したことはない」(27.7%)も3割弱にのぼっている。短時間の非正社員は、「転換希望はなく、転換もしていない」(76.1%)の割合が高くなっている。

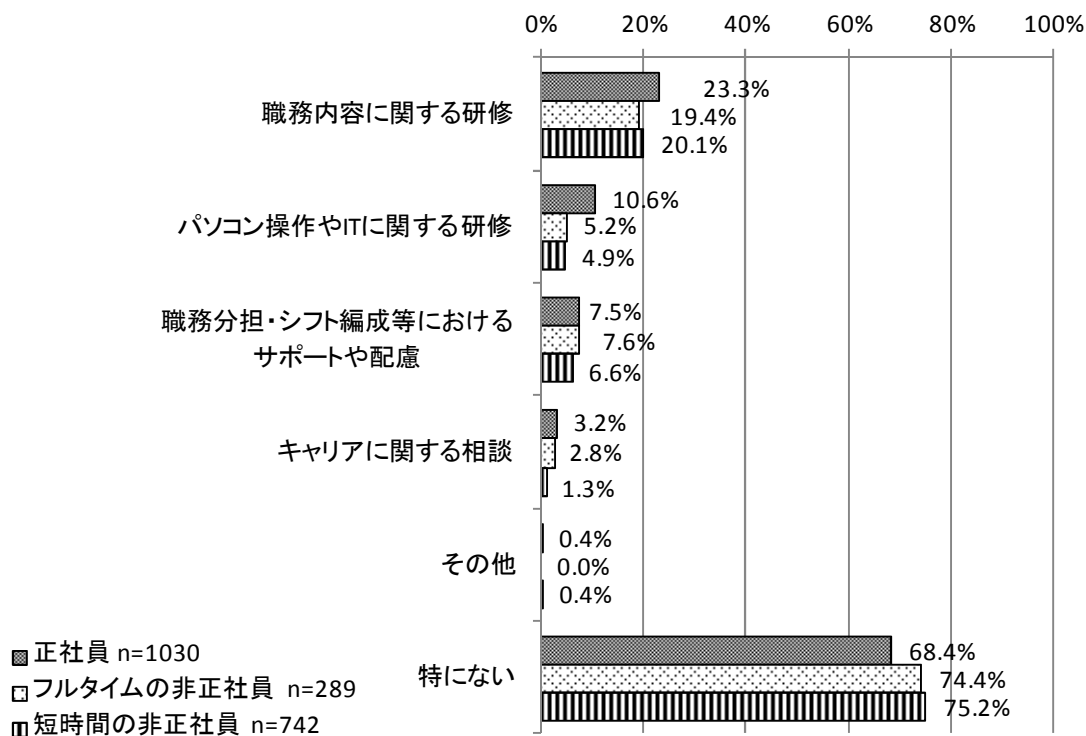
図表 60 雇用形態変更への希望・経験：単数回答 (Q40)



## (2) 再就職先で受けた支援

再就職先で受けた業務習熟のための支援をみると、「職務内容に関する研修」が2割前後、次いで、正社員は「パソコン操作やITに関する研修」(10.6%)、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は「職務分担・シフト編成等におけるサポートや配慮」(7.6%、6.6%)があげられているが正社員、非正社員とも「特にない」が7割前後となっている。

図表 61 再就職先で受けた支援：複数回答 (Q41)

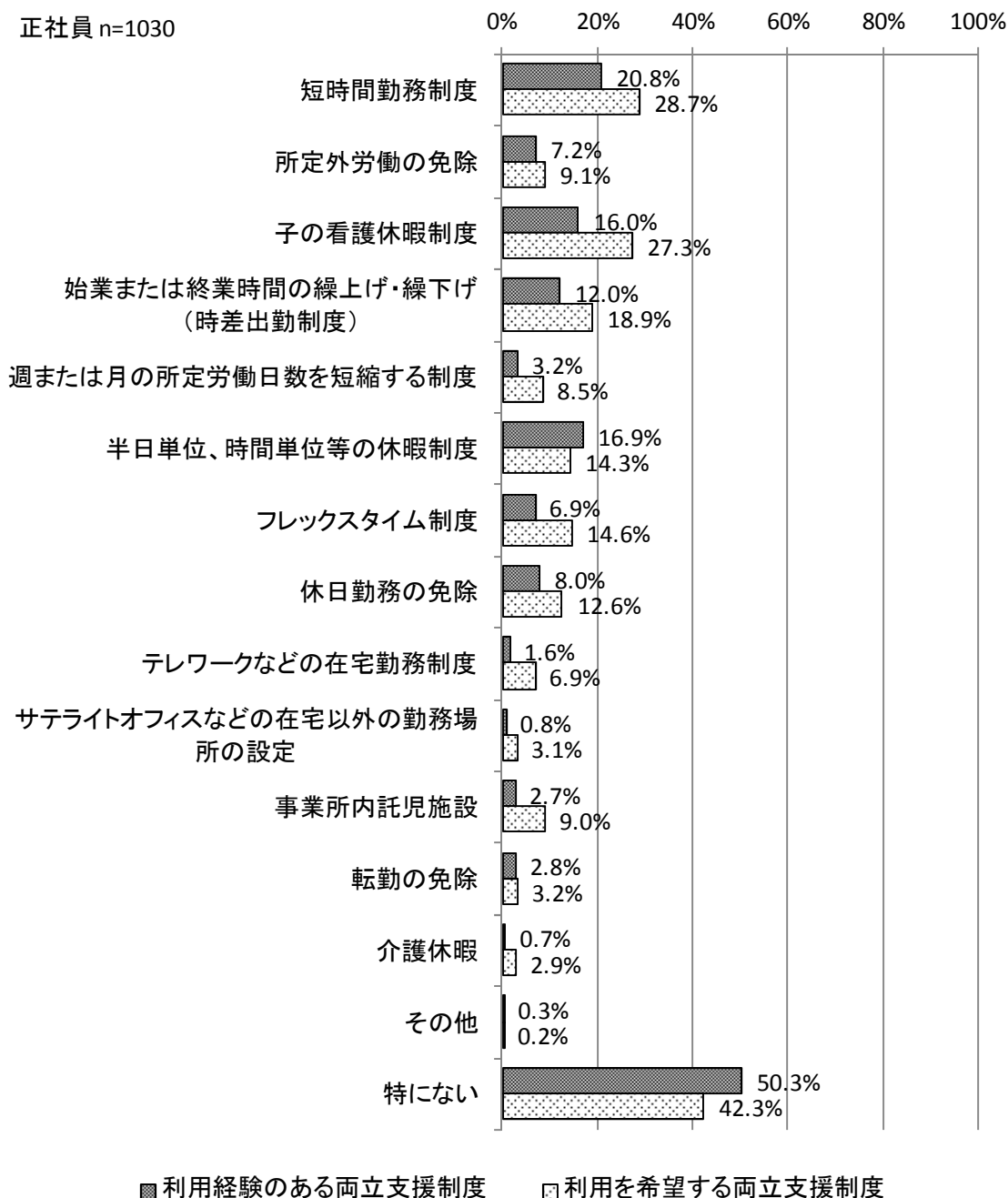


### (3) 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度

利用経験のある両立支援制度をみると、正社員は、「短時間勤務制度」(20.8%)、「半日単位、時間単位等の休暇制度」(16.9%)、「子の看護休暇制度」(16.0%)などが上位にあげられている。

利用を希望する両立支援制度は、「短時間勤務制度」(28.7%)、「子の看護休暇制度」(27.3%)、「始業または就業時間の繰上げ・繰下げ(時差出勤制度)」(18.9%)などが上位にあげられている。

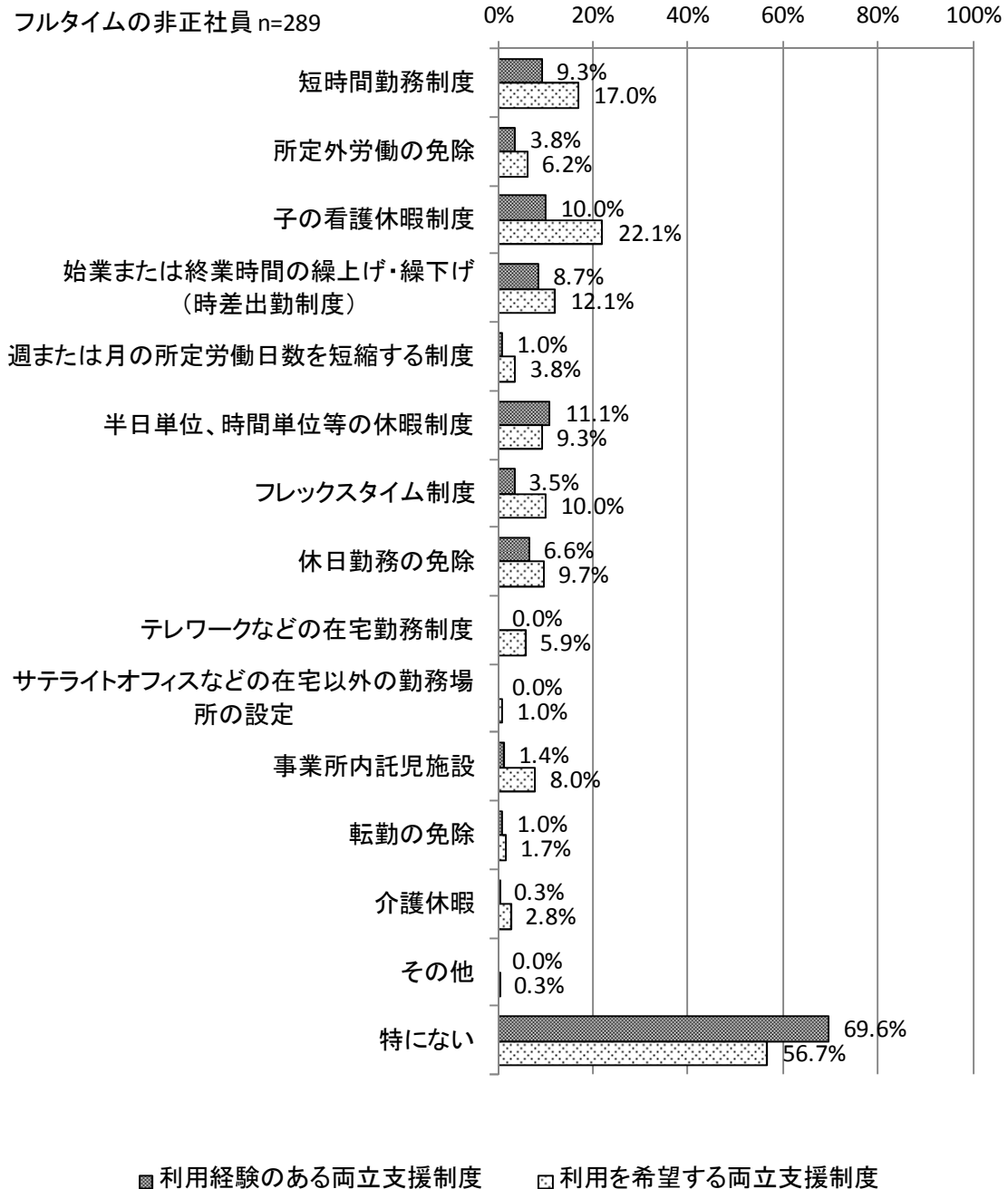
図表 62 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度【正社員】：複数回答(Q42)



フルタイムの非正社員については、「半日単位、時間単位等の休暇制度」(11.1%)、「子の看護休暇制度」(10.0%)などが上位にあげられている。

利用を希望する両立支援制度は、「子の看護休暇制度」(22.1%)、「短時間勤務制度」(17.0%)などが上位にあげられている。

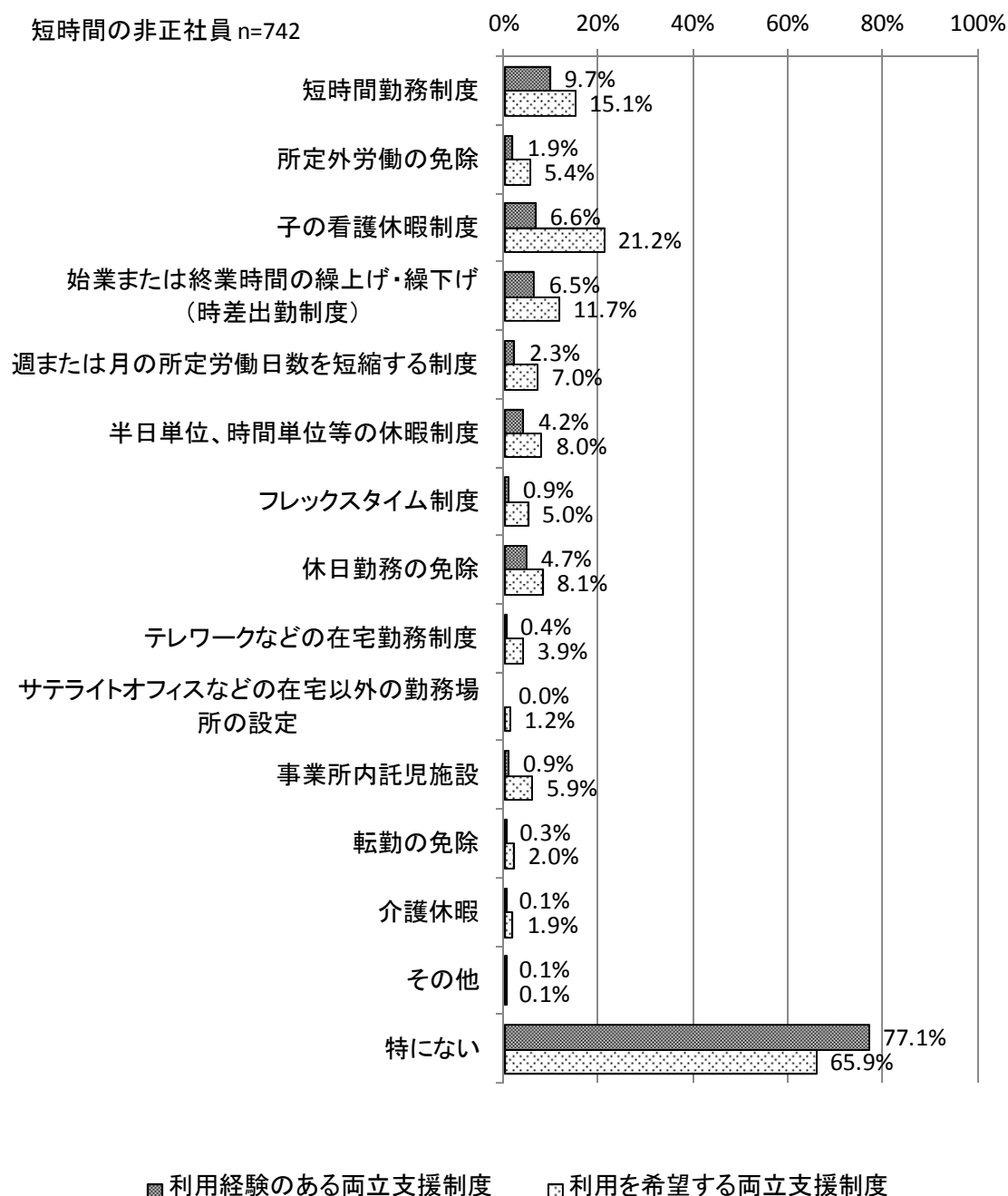
図表 63 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度【フルタイムの非正社員】：複数回答 (Q42)



短時間の非正社員については「短時間勤務制度」(9.7%)や、「子の看護休暇制度」(6.6%)などが上位であるが、いずれも1割以下にとどまっており、正社員、フルタイムの非正社員に比べると利用割合は低い。

利用を希望する両立支援制度は、「子の看護休暇制度」(21.2%)、「短時間勤務制度」(15.1%)などが上位にあげられている。

図表 64 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度【短時間の非正社員】：複数回答 (Q42)



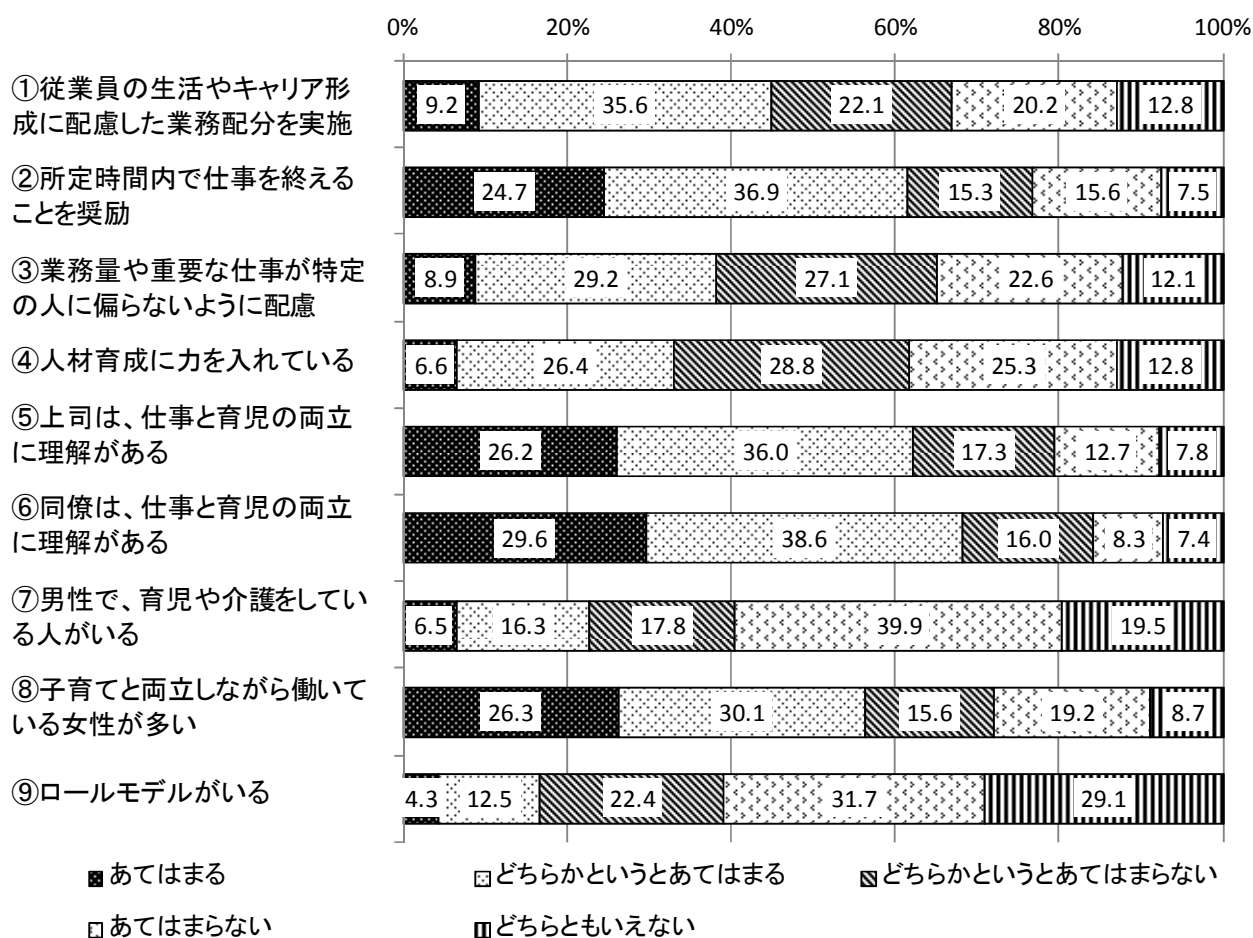
#### (4) 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴

正社員について再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴をみると、正社員は「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「②所定時間内で仕事を終えることを奨励している」について、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合が比較的高く、いずれも6割を超えている。

一方、「⑨ロールモデルがいる」、「⑦男性で、育児や介護をしている人がいる」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合は、2割前後にとどまっている。

図表 65 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴【正社員】：単数回答（Q43）

正社員 n=1030

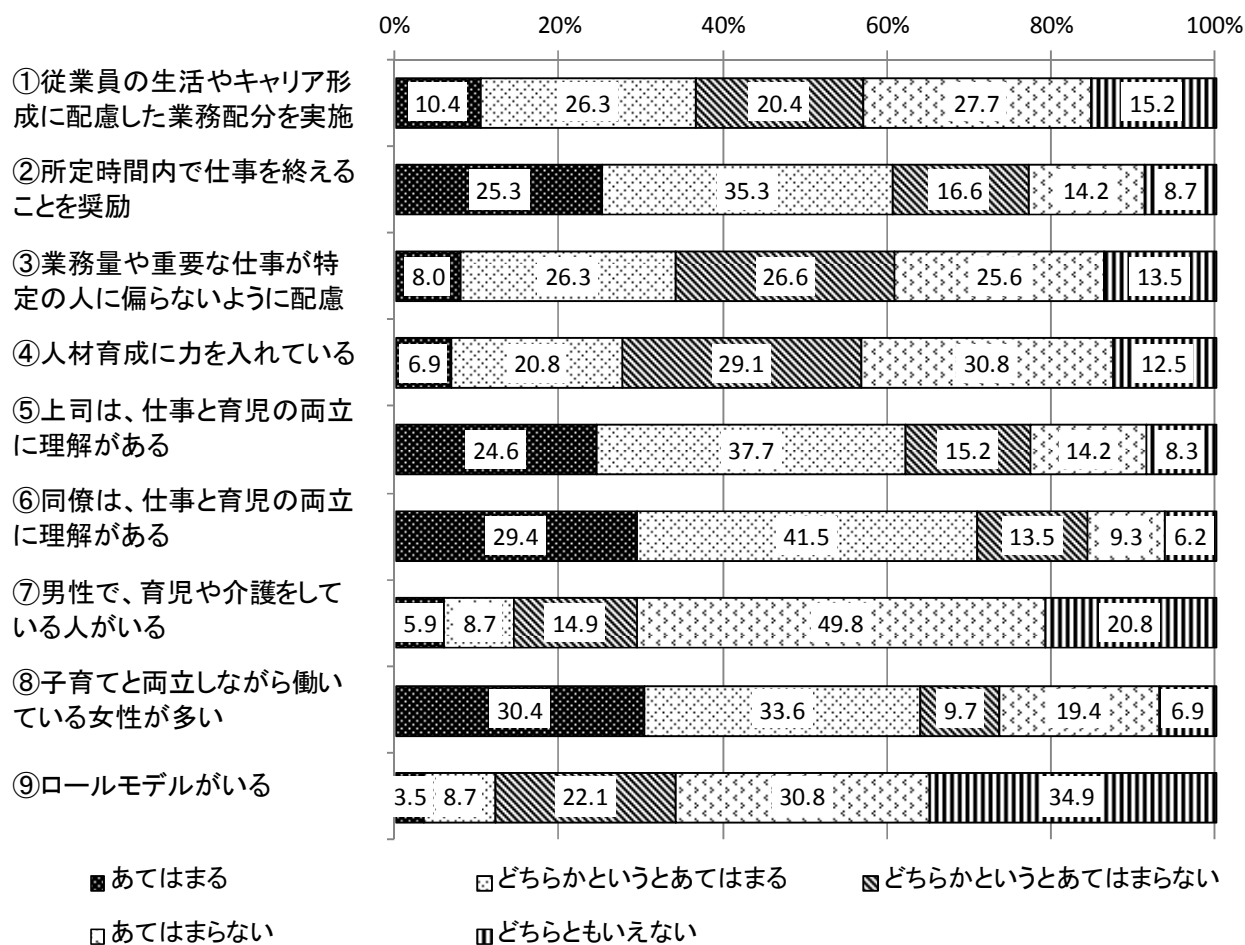


フルタイムの非正社員については、正社員と同様に「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「②所定時間内で仕事を終わることを奨励している」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合が比較的高く、いずれも6割を超えている。

一方、「⑨ロールモデルがいる」、「⑦男性で、育児や介護をしている人がいる」については、あてはまると（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）回答した人の割合は、1割強にとどまっている。

図表 66 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴【フルタイムの非正社員】：単数回答 (Q43)

フルタイムの非正社員 n=289



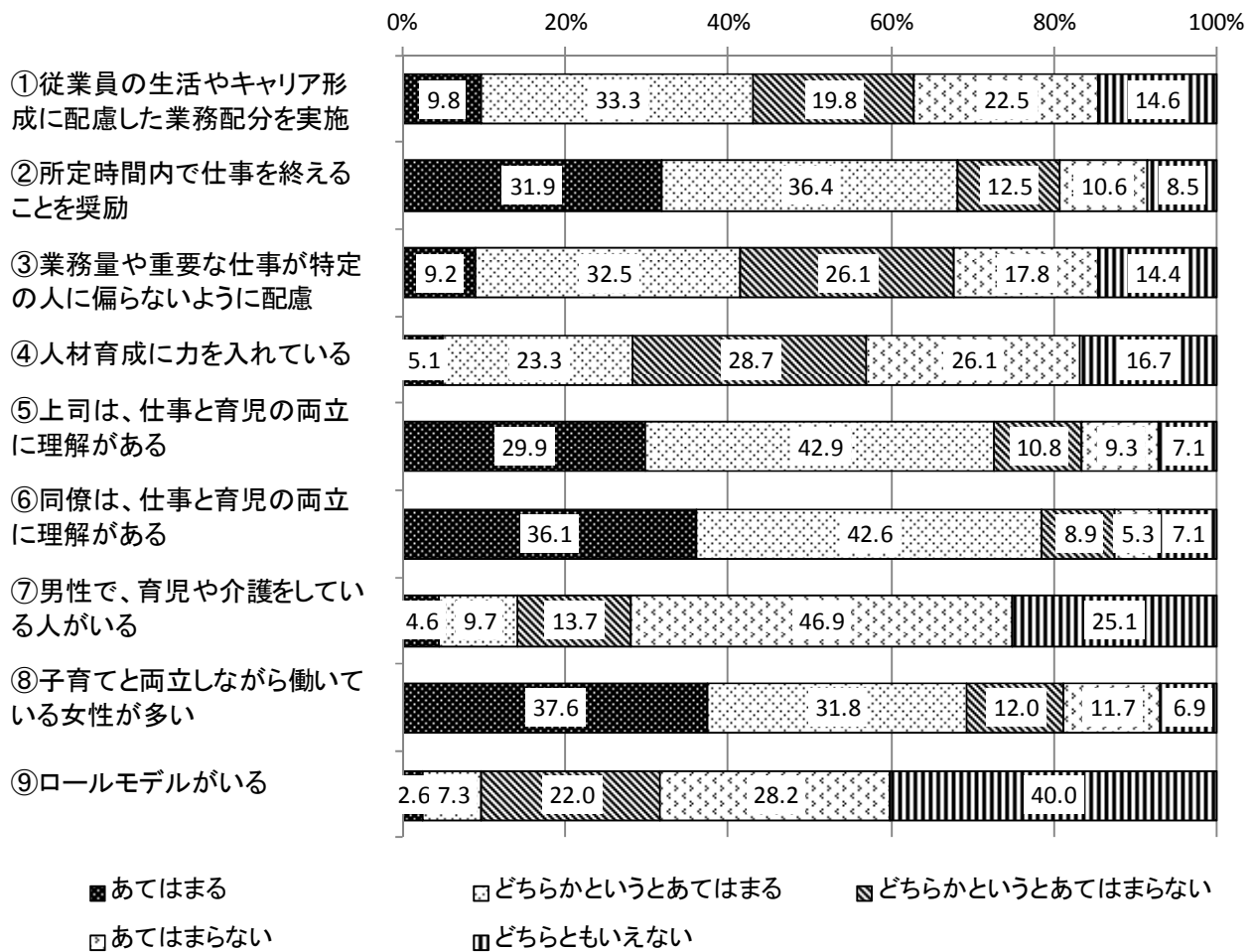


短時間の非正社員については、「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「②所定時間内で仕事を終わることを奨励している」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合が比較的高く、いずれも7～8割前後を占めている。

一方、「⑨ロールモデルがいる」、「⑦男性で、育児や介護をしている人がいる」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合は、1割前後と低くなっている。

図表 67 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴【短時間の非正社員】: 単数回答(Q43)

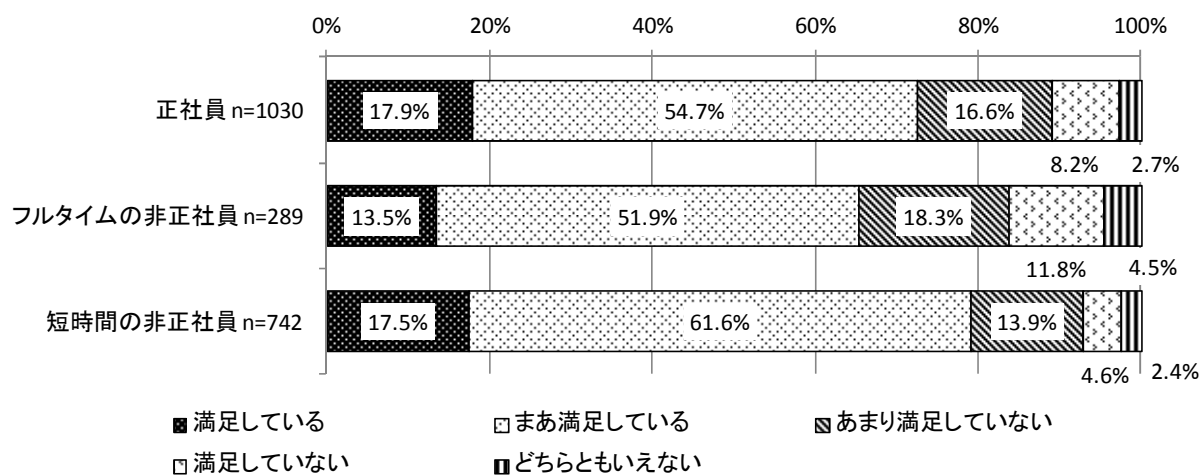
短時間の非正社員 n=742



## (5) 現在の仕事の満足度

現在の仕事の満足度をみると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた満足している割合は、フルタイムの非正社員（65.4%）、正社員（72.6%）、短時間の非正社員（79.1%）の順に高くなっている。

図表 68 現在の仕事の満足度：単数回答（Q44）

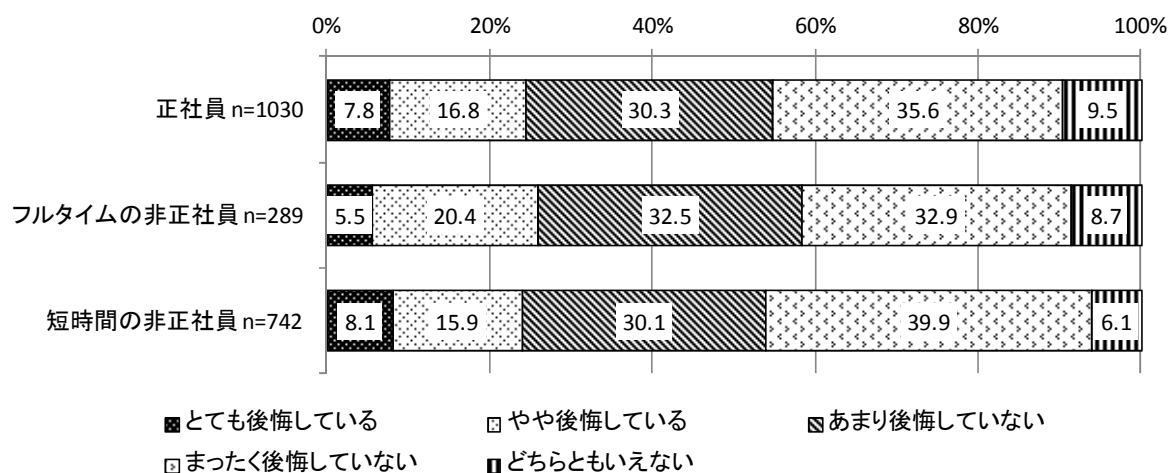


## (6) 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて

### ① 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔

出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて、後悔しているかどうかきいたところ、正社員、非正社員とも後悔している（「とても後悔している」及び「やや後悔している」）割合は、4分の1前後となっている（正社員 24.6%、フルタイムの非正社員 25.9%、短時間の非正社員 24.0%）。一方、「まったく後悔していない」割合は、フルタイムの非正社員（32.9%）、正社員（35.6%）、短時間の非正社員（39.9%）の順に高くなっている。

図表 69 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて：単数回答（Q45）

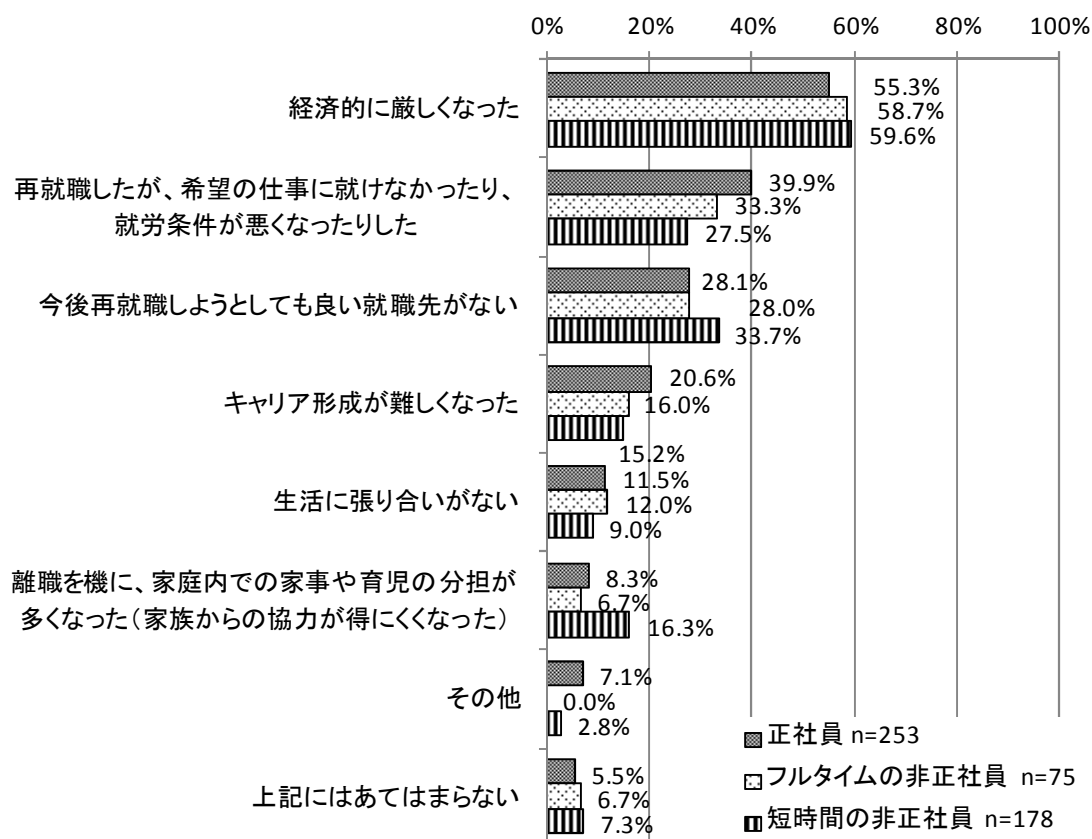


## ②後悔している理由

出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて、後悔していると回答した人にその理由をきいたところ、「経済的に厳しくなった」、「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなったりした」、「今後再就職しようとしても良い就職先がない」などが上位にあげられている。

正社員は、他と比較して「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなったりした」(39.9%) や、「キャリア形成が難しくなった」(20.6%)、短時間の非正社員は「今後再就職しようとしても良い就職先がない」(33.7%) や、「退職を機に、家庭内での家事や育児の分担が多くなった(家族からの協力が得にくくなった)」(16.3%) などの割合が高い傾向にある。

図表 70 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由：複数回答（Q46）

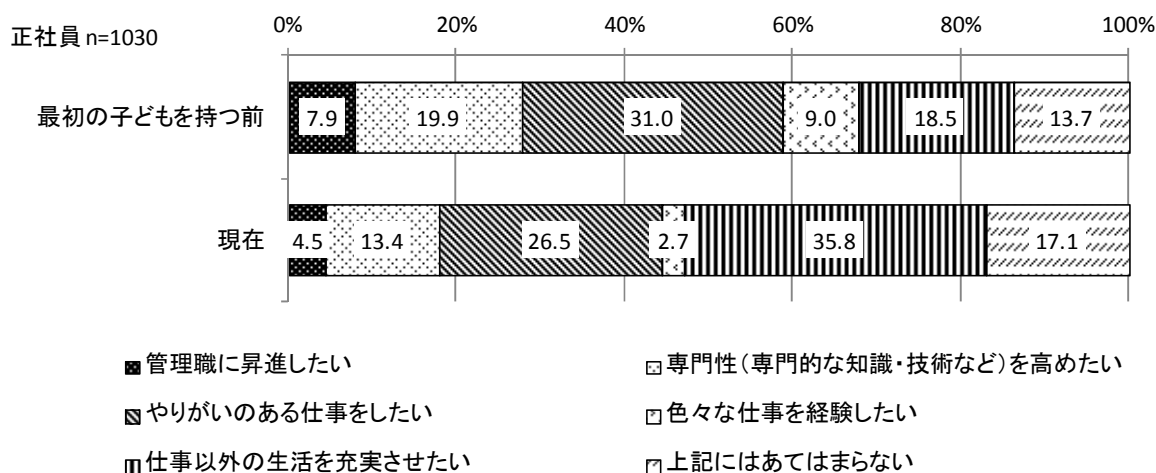


## (7) キャリア意識

現在のキャリア意識をみると、正社員は「仕事以外の生活を充実させたい」(35.8%)が最も高く、最初の子どもを持つ前(18.5%)の2倍近くとなっている。次いで「やりがいのある仕事をしたい」(26.5%)となっているが、最初の子どもを持つ前(31.0%)と比べると、その割合は減少している。

また、現在、「管理職に昇進したい」(4.5%)や、「専門性(専門的な知識・技術など)を高めたい」(13.4%)と考える割合は、最初の子どもを持つ前に比べて減少している。

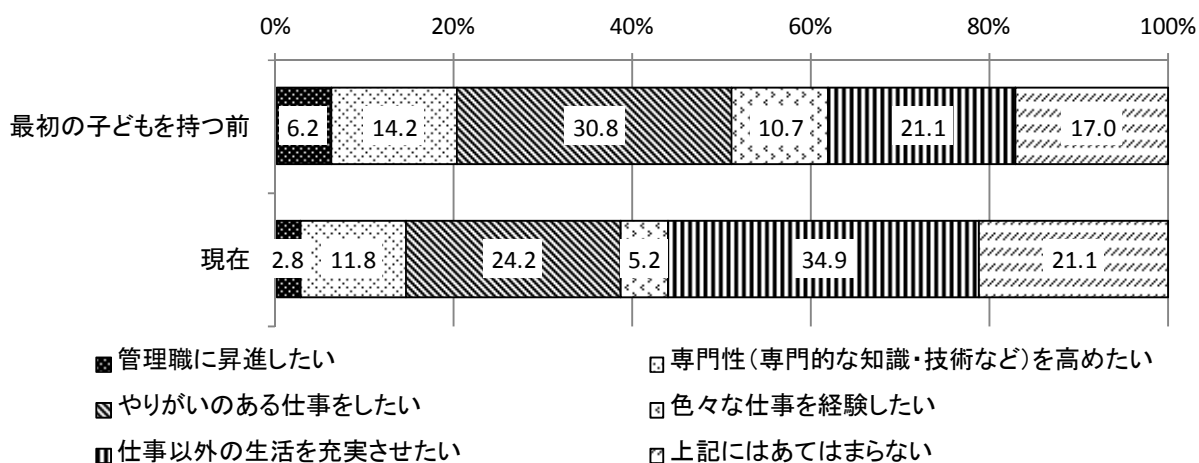
図表 71 キャリア意識【正社員】：単数回答 (Q47)



フルタイムの非正社員について、現在のキャリア意識をみると、正社員と同様、「仕事以外の生活を充実させたい」(34.9%)が最も高く、次いで「やりがいのある仕事をしたい」(24.2%)となっている。最初の子どもを持つ前からのキャリア意識の変化についても、正社員と同様の傾向となっている。

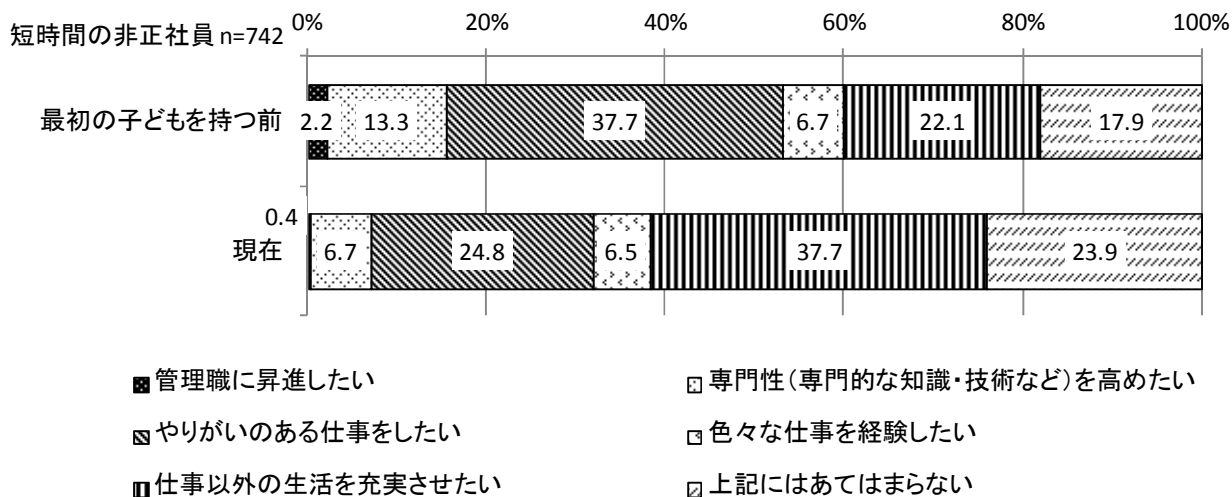
図表 72 キャリア意識【フルタイムの非正社員】：単数回答 (Q47)

フルタイムの非正社員 n=289



短時間の非正社員について、現在のキャリア意識をみると、「仕事以外の生活を充実させたい」(37.7%)が最も高く、次いで「やりがいのある仕事をしたい」(24.8%)、「上記にはあてはまらない」(23.9%)となっている。最初の子どもの持つ前は、「やりがいのある仕事をしたい」は37.7%であったが、現在は大きく減少している。

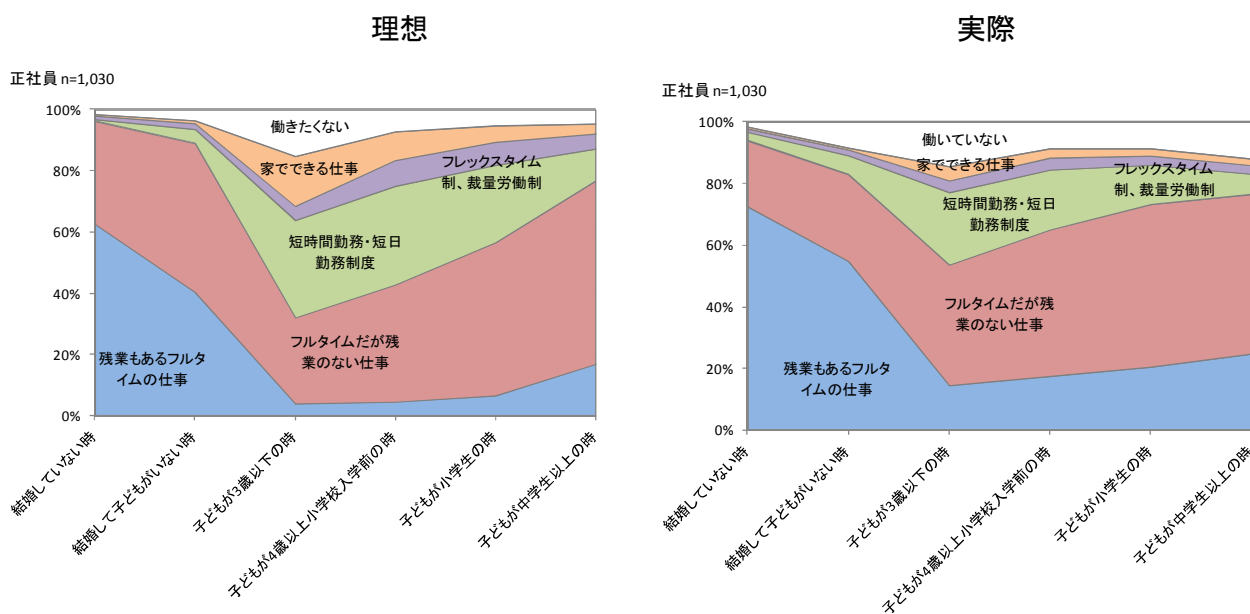
図表 73 キャリア意識【短時間の非正社員】：単数回答 (Q47)



### (8) 働き方の理想と実際

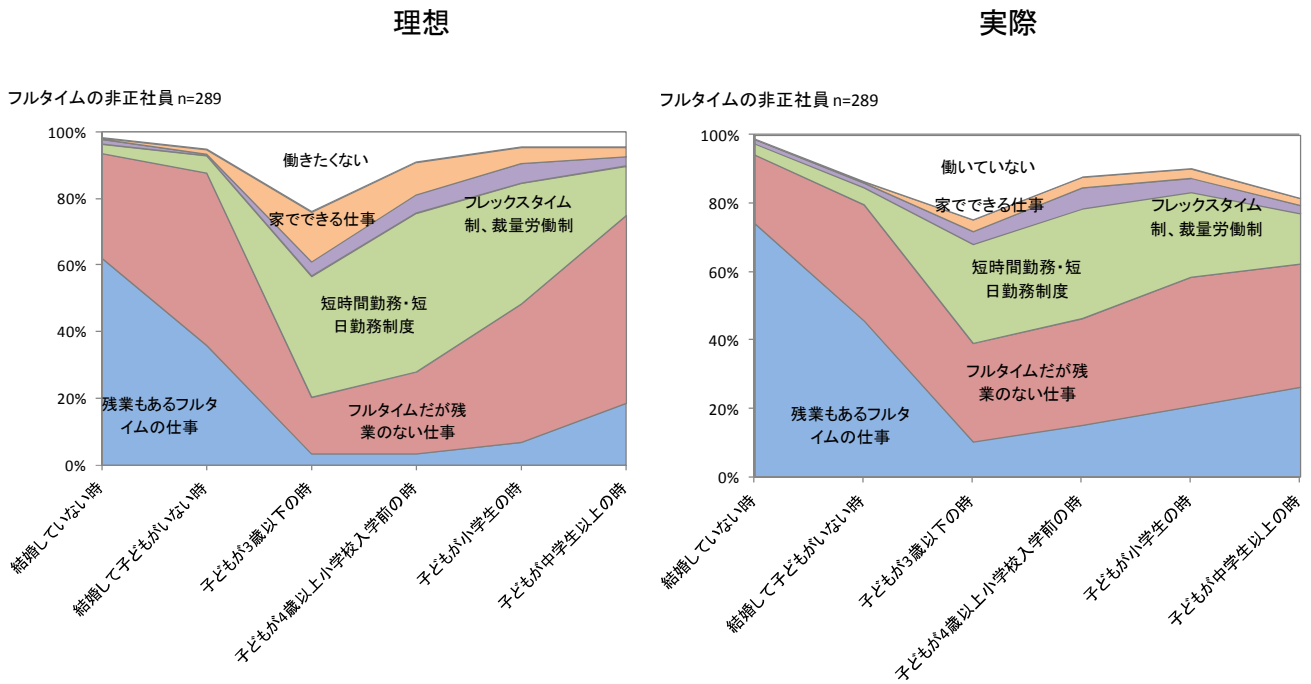
働き方の理想と実際をみると、正社員は、「子どもが小学生の時」までは、「フルタイムだが残業のない仕事」の希望が多い。また、同時期において、「短時間勤務・短日勤務制度」や「家でできる仕事」については、理想に比べて実際の方が少ない傾向がみられる。

図表 74 働き方の理想と実際【正社員】：単数回答 (Q48)



フルタイムの非正社員については、正社員と同様に「子どもが小学生の時」までは、「残業もあるフルタイムの仕事」を理想とする割合は非常に少ないが、実際には7～15%前後となっている。また、同時期において、「短時間勤務・短日勤務制度」や「家でできる仕事」については、理想に比べて実際の方が少ない傾向にある。

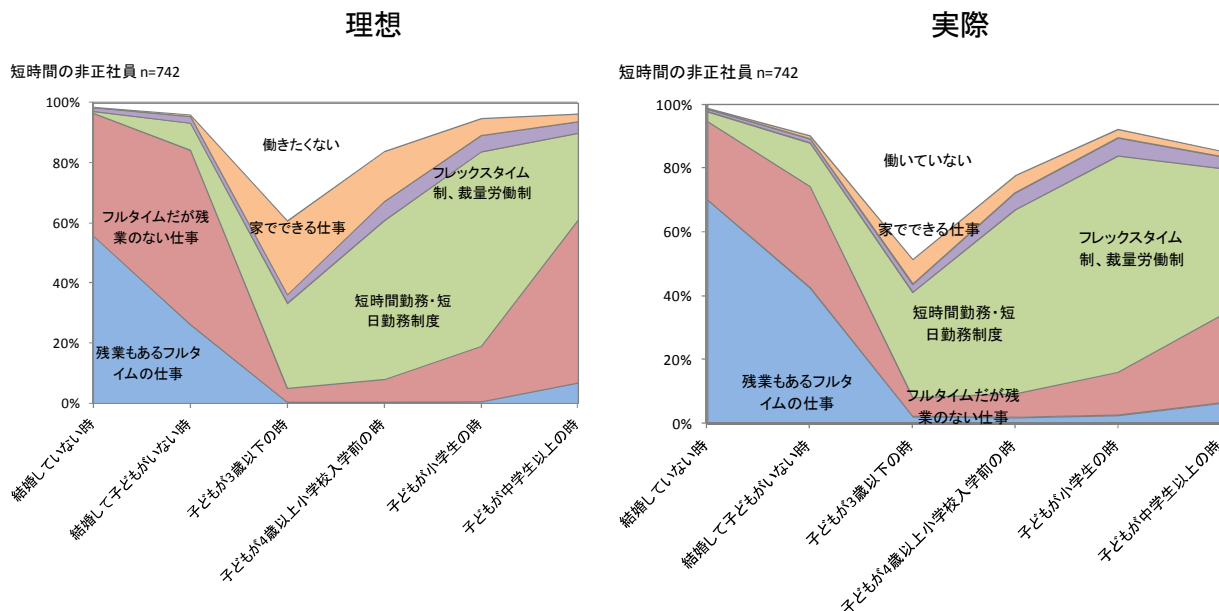
図表 75 理想の働き方と、実際の働き方【フルタイムの非正社員】：単数回答（Q48）



短時間の非正社員については、「子どもが小学生の時」までは、「家でできる仕事」が、理想よりも実際の方が少ない傾向にある。

さらに、「子どもが3歳以下の時」、「子どもが中学生以上の時」では、理想の働き方で「働きたくない」(39.4%、3.6%)と回答した割合に比べて、実際に「働いていない」(48.5%、14.6%)割合が特に多くなっている。

図表 76 理想の働き方と、実際の働き方【短時間の非正社員】：単数回答 (Q48)



(9) 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整

配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整の有無をみると、「している（年収を103万円以下、130万円以下などにおさえるようにしている）」の割合は、短時間の非正社員が最も高く71.4%、次いでフルタイムの非正社員が25.6%、正社員が9.2%となっている。

図表 77 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整：単数回答 (Q49)

